

便器洗浄ユニット施工説明書

ウォシュレット専用（パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式）

重要

施工タイプ **3** 種類から必ず 1 つ選択してください。

- 「施工の流れ」（2 ページ）を必ずご確認ください。
 - ※記載されていない便器には取り付けできません。
 - ※対応していない便器洗浄ユニットを取り付けると故障の原因となります。
 - ※施工タイプによって、便器洗浄モードの設定方法が異なります。

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

- 施工手順 3：「便器洗浄モードを設定する」を必ずご確認ください。
- 出荷時の設定のままでは洗浄できません。
- 自治体の規制に合わせた洗浄水量に変更することができます。
規制に合わせて設定を行ってください。



の場合

ウォシュレットとの
組み合わせ設定が必要です。

※組み合わせ設定については、便器洗浄リモコン
取付説明書をご確認ください。

- 設定しないと便器洗浄できません。

TOTO 株式会社

TOTO ホームページ <http://www.toto.co.jp/>

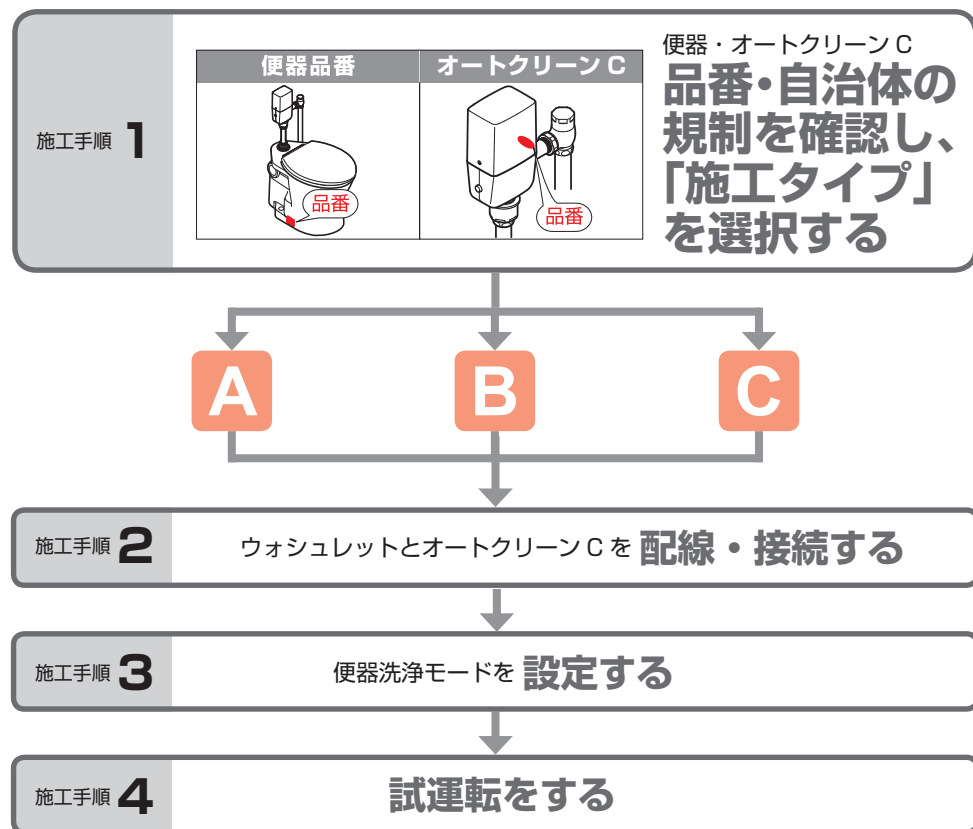


この QR コードは
メーカー管理用です。
2016.2.16
D08863



施工の流れ

自治体の洗浄水量規制によって、施工タイプが3種類に分かれます。
施工タイプに合わせて、正しく施工してください。



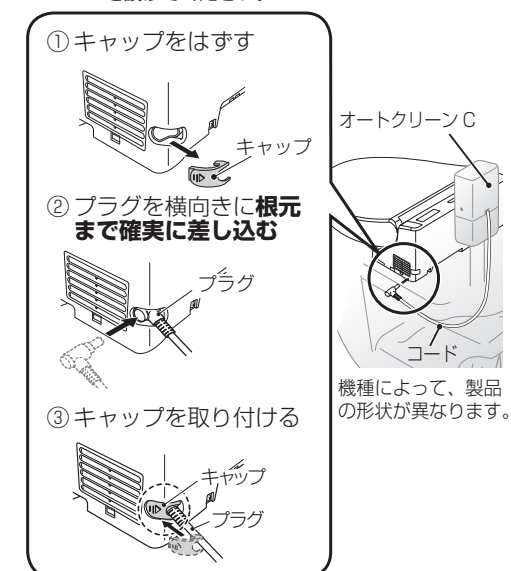
施工手順 1 「施工タイプ」を選択する

便器品番		CS464 系 / CS465 系		
オートクリーン C 品番		TEV10E 系 / TEV20E 系		
洗浄水量の種類		標準の水量	自治体規制の水量	
洗浄水量	大洗浄	5.5L	6L	8L
	小洗浄	4.5L	5L	6L
		↓	↓	↓
施工タイプ		A	B	C

施工手順 2 ウォシュレットとオートクリーン C を配線・接続する

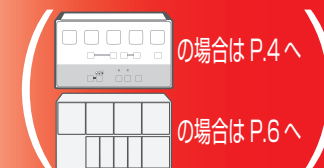
プラグを接続する

- ウォシュレット本体を施工する
(ウォシュレット本体の施工説明書参照)
- 重要**
手順 2 以降は、ウォシュレット
本体施工後に行ってください。
- プラグ (オートクリーン C) を接続する
コードは、ウォシュレットの着脱ができる余裕
を設けてください。



- ウォシュレットの電源プラグを
コンセントに差し込む

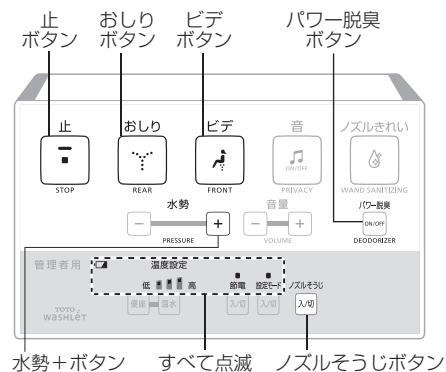
必ず便器洗浄モードを設定してください
リモコンによって、設定方法が異なります。



施工手順 3 便器洗浄モードを設定する場合

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む
→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

2 止 と 水勢 10 秒以上押す
→リモコンのランプが全点滅します。



機種によっては、ボタンのレイアウトやリモコンのデザインなどが異なります。

施工タイプ A	3 おしり 5 秒以上押す 	 本体表示部 運転 便座 温水 節電 2回点滅
施工タイプ B	3 ビデ 5 秒以上押す 	 本体表示部 運転 便座 温水 節電 2回点滅
施工タイプ C	3 パワー脱臭 5 秒以上押す 	 本体表示部 運転 便座 温水 節電 2回点滅

で注意
モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
(ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

施工全タイプ共通

4 入切 5 秒以上押す → (電子音が 2 回鳴ると同時に本体表示部ランプが 2 回点滅) することを確認する
(本体表示部ランプ: **A** は「運転」、**B** は「節電」、**C** は「便座」)

電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
手順③に戻り、設定しなおしてください。

手順③をくり返すたびにモードが切り替わる

「ビーツ」 本体表示部が 全ランプ 1 回点滅 出荷時のモード	→	「ビーツ、ビーツ」 表示部が 2 回点滅 このモードに 設定する	→	「ビーツ、ビーツ、ビーツ」 表示部が 3 回点滅 使用しません	→	「ビーツ、ビーツ、ビーツ、ビーツ」 表示部が 4 回点滅 使用しません
--	---	--	---	--	---	--

5 止 押す → 設定完了

試運転をする
P.8へ

施工手順 3 便器洗浄モードを設定する場合

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

2 ビデ 5 回押す

→「ビッ」という電子音が鳴り、
「設定モード」※に入ります。

「設定モード」中は、20 秒以内に
次のボタンを押してください。



ボタンは「カチッ」と音がする
まで押してください。



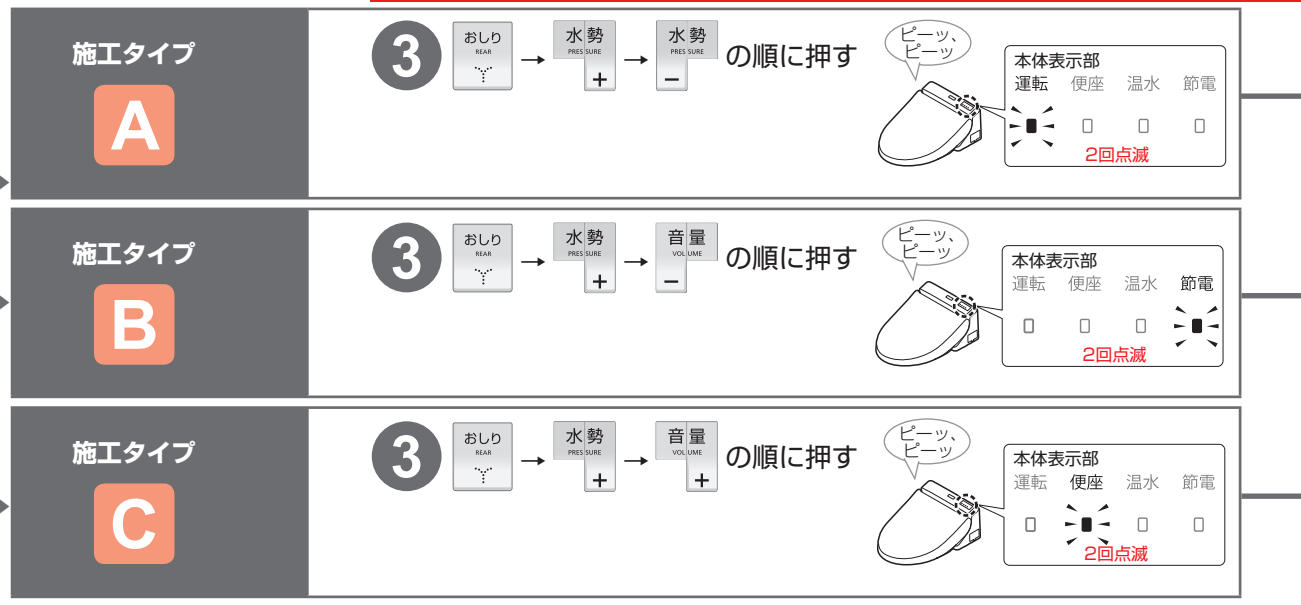
機種によっては、ボタンのレイアウトやリモコンの
デザインなどが異なります。

設定完了できなかった場合は、手順②からやり直してください。
設定を途中でやめるときは、「止」ボタンを押してください。

※電子音が鳴らなかった場合は、リモコンとウォシュレット本体の組みあわせ
設定がされていない可能性があります。ウォシュレット本体の施工説明書
を見て、組みあわせ設定を行ってください。

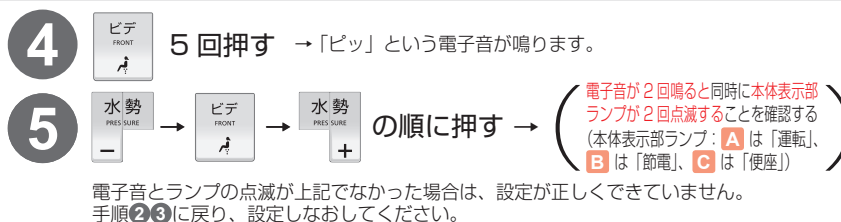
で注意

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
(ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

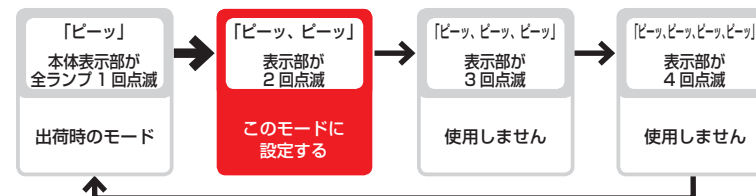


施工全タイプ共通

設定位置を確認する



手順②③をくり返すたびにモードが切り替わる



試運転をする
P.8へ

4 試運転をする

施工全タイプ共通

ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込んだ後、次の項目を確認し、□ にチェックを行ってください。

チェック



- 1 オートクリーン C の止水栓を開ける
止水栓の開閉方法は、オートクリーン C の施工説明書をご覧ください。

チェック



- 2 リモコンで便器洗浄を確認する
「大」「小」ボタンを押して、便器洗浄を行うことを確認する
※連続して押すと作動しません。約 10 秒たってから、もう一度ボタンを押してください。

便器洗浄が正しく行われないときは「うまく動かないとき」(P.14) をご覧ください。

チェック

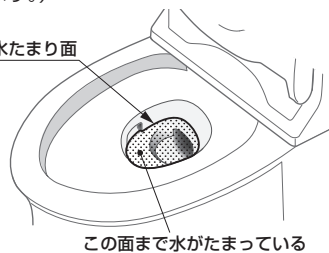


- 3 大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認する

正常な状態

設定変更は不要です。
(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。)

正常な水たまり面



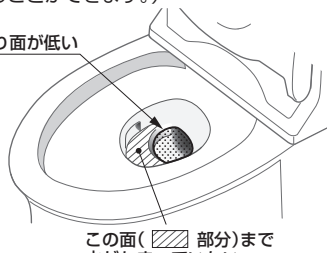
この面まで水がたまっている

水たまり面が低い状態

設定変更

設定変更を行ってください。
(洗浄水量を変えずに水たまり面を正常な状態にすることができます。)

水たまり面が低い



この面(斜線部分)まで水がたまっていない

〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

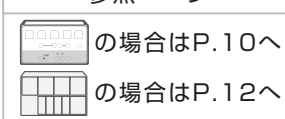
ペットボトルやバケツなどで徐々に水をたし、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

試運転の結果に応じて、右記表を確認し適切なモードに設定してください。

参照ページ



試運転が終わりましたら、各施工説明書に従って作業を行ってください。

- オートクリーン C → 施工と試運転
- ウォシュレット本体 → 試運転

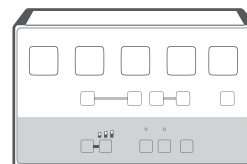
設備保護洗浄を設定する

設備保護洗浄を利用する場合は、仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。

設備保護洗浄する／しない

はじめの設定
「しない」

24 時間以上便器洗浄されなかったとき、または小洗浄がくりかえし続いたときに、配管を保護するため自動で洗浄を行う機能です。



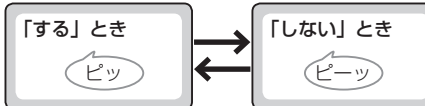
の場合

- 1 止 と ビデ 10 秒以上押す
リモコンのランプが全点滅します。

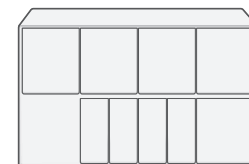
- 2 ビデ と 水勢 同時に押す

手順②をくり返すたびに設定が切り替わる

設備保護洗浄を



- 3 止 を押す
<設定完了>



の場合

ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。

- 1 おしり 5 回押す

「ピッ」という電子音が鳴り、
<設定モード>に入ります。

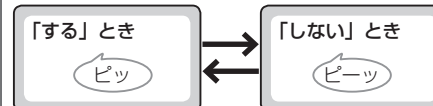
<設定モード>中は、20 秒以内に次のボタンを押してください。

設定完了できなかった場合は、もう一度手順①からやり直してください。
設定を途中でやめるときは、「止」ボタンを押してください。

- 2 水勢 → おしり → 水勢 の順に押す

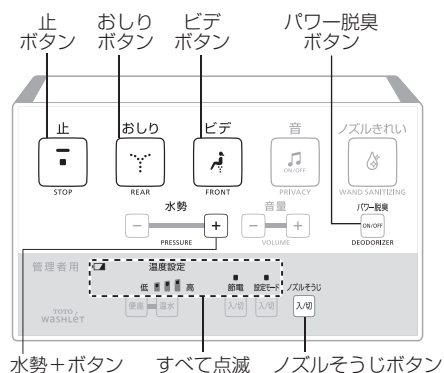
手順①②をくり返すたびに設定が切り替わる

設備保護洗浄を

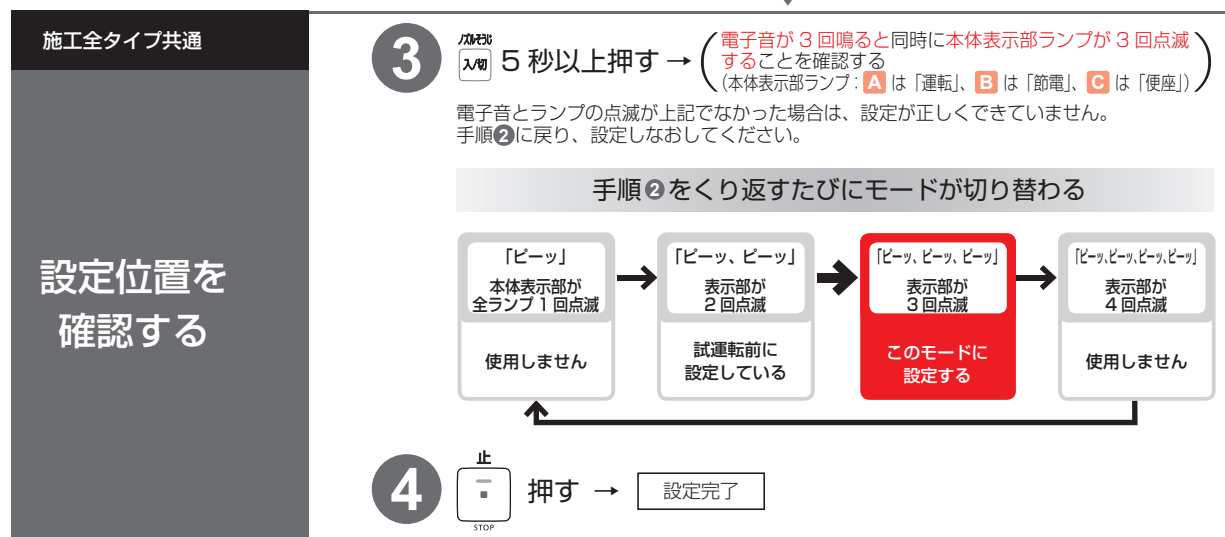


便器の水たまり面が低下した場合 の場合

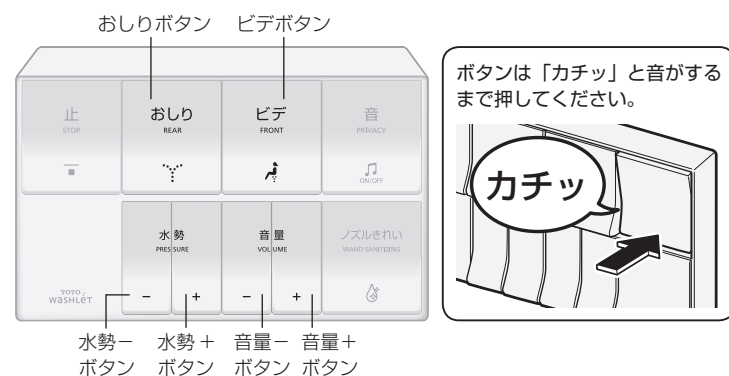
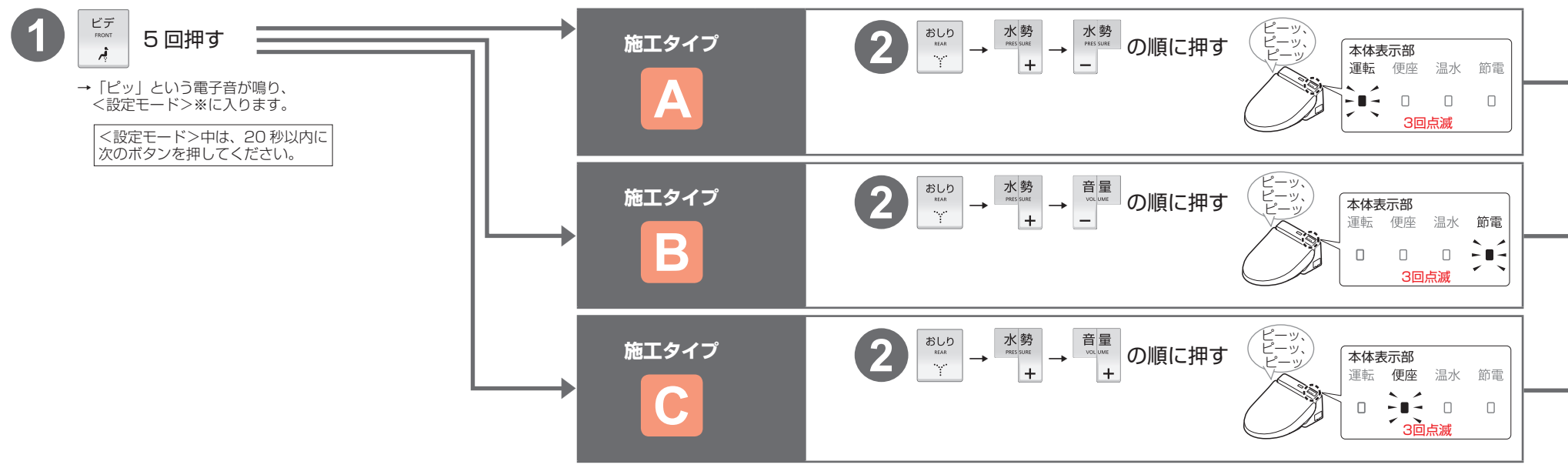
1  と  10 秒以上押す
→リモコンのランプが全点滅します。



機種によっては、ボタンのレイアウトやリモコンのデザインなどが異なります。

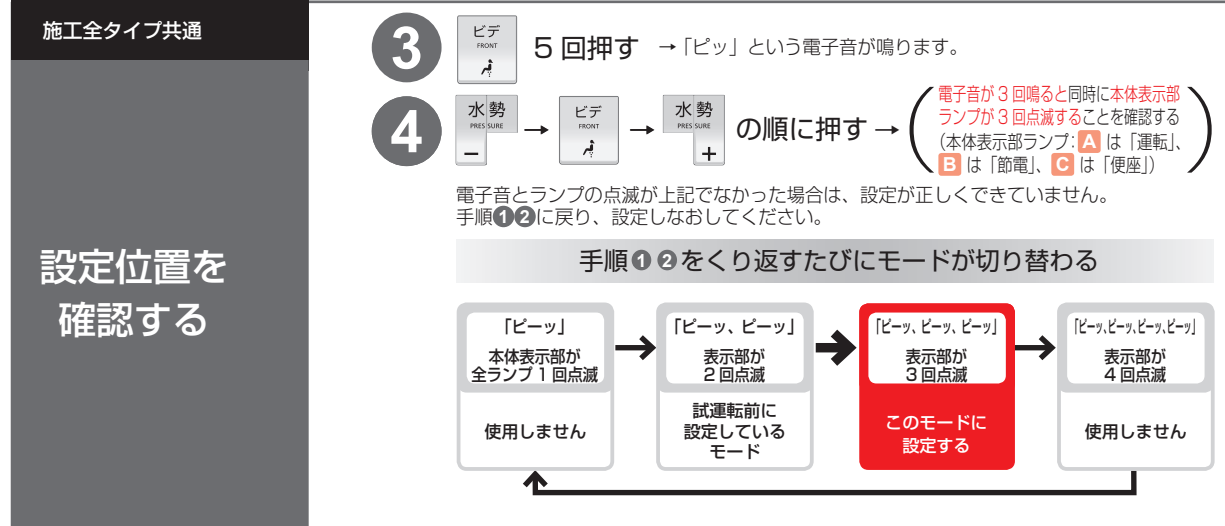


便器の水たまり面が低下した場合 の場合



機種によっては、ボタンのレイアウトやリモコンの
デザインなどが異なります。

設定完了できなかった場合は、もう一度手順①からやり直してください。
設定を途中でやめるときは、「止」ボタンを押してください。



うまく動かないとき

洗浄が正しく行われないときは、まずこのページの処置方法を試してください。それでも直らないときは、もう一度「施工の流れ」(P.2)を最初から確認してください。

こんなときは	ご確認ください	処置方法
作動しない	 の場合 ●便器洗浄リモコンとウォシュレットとの組み合わせ設定を行っていますか？	便器洗浄リモコンとウォシュレットとの組み合わせ設定を行う →便器洗浄リモコン取付説明書をご確認ください。
	●オートクリーンCのプラグが、ウォシュレットの接続口に根元まで確実に差し込まれていますか？	プラグを根元まで確実に押し込み、キャップを取り付ける
	●ウォシュレット本体の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	ウォシュレット本体の電源プラグをコンセントに差し込む
	 の場合 ●リモコンに電池は入っていますか？	リモコンに電池を正しく入れる
流れない	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす
大洗浄しからない	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす
小洗浄しからない	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす
水たまり面が低い	●水たまり面が低下した場合の設定を行っていますか？	水たまり面が低下した場合の設定しなおす

MEMO

This image shows a full page of blank, lined paper. It features approximately 20 evenly spaced horizontal grey lines across its entire width, providing a guide for handwriting or typing. The paper itself is a clean, off-white color.